

平成 30 年度

第 2 回青少年意見募集事業結果

テーマ

子供や若者へ向けた、食品安全に係る情報発信について

(提案元：農林水産省)

意見受付期間

平成 30 年 8 月 13 日 (月) ~ 9 月 2 日 (日)

平成 30 年 9 月

主に自由回答形式の質問に対する回答を、回答の要点ごとに分析して集計し、分類ごとに主な意見を掲載している。意見の掲載に当たっては、必要に応じ、要約している。

第 2 回 子供や若者へ向けた、食品安全に係る情報発信について（農林水産省）

1. 設問

- 質問 1 ふだんどのようなことに気をつけて食品を選びますか。
- 質問 2 - 1 食品の安全について、気になりますか。
- 質問 2 - 2 （質問 2 - 1 で「はい」を選んだ方）具体的にはどのようなことが気になりますか。
- 質問 2 - 3 （質問 2 - 1 で「いいえ」を選んだ方）気にならない理由は何ですか。
- 質問 3 食品の安全について知りたいときに、どこから情報を得ようと思いますか。
- 質問 4 - 1 食品の安全に関するニュースで、印象に残っているものはありますか。
- 質問 4 - 2 （「はい」を選んだ方）具体的に印象に残っていることをお書きください。
- 質問 4 - 3 （質問 4 - 1 で「はい」を選んだ方）そのニュースはどこで知りましたか。
- 質問 4 - 4 （質問 4 - 3 で「その他」と答えた方）具体的な発信元をお書きください。
- 質問 5 食品の安全に関する情報のうち、どこから発信されたものを信頼しますか。
- 質問 6 農林水産省では以下のツールを使って広報を行っていますが、これらのうち知っているものはありますか。
- 質問 7 食品の安全に関する情報はたくさんありますが、その中から必要な情報を選ぶときに気をつけていることは何かありますか。
- 質問 8 あなたは自分が食中毒にならないためにふだん、どんなことに気をつけていますか。
- 質問 9 食中毒を減らすために、国はどのような情報発信に取り組むことが効果的だと思いますか。

3 平成 30 年度 第 2 回青少年意見募集事業結果

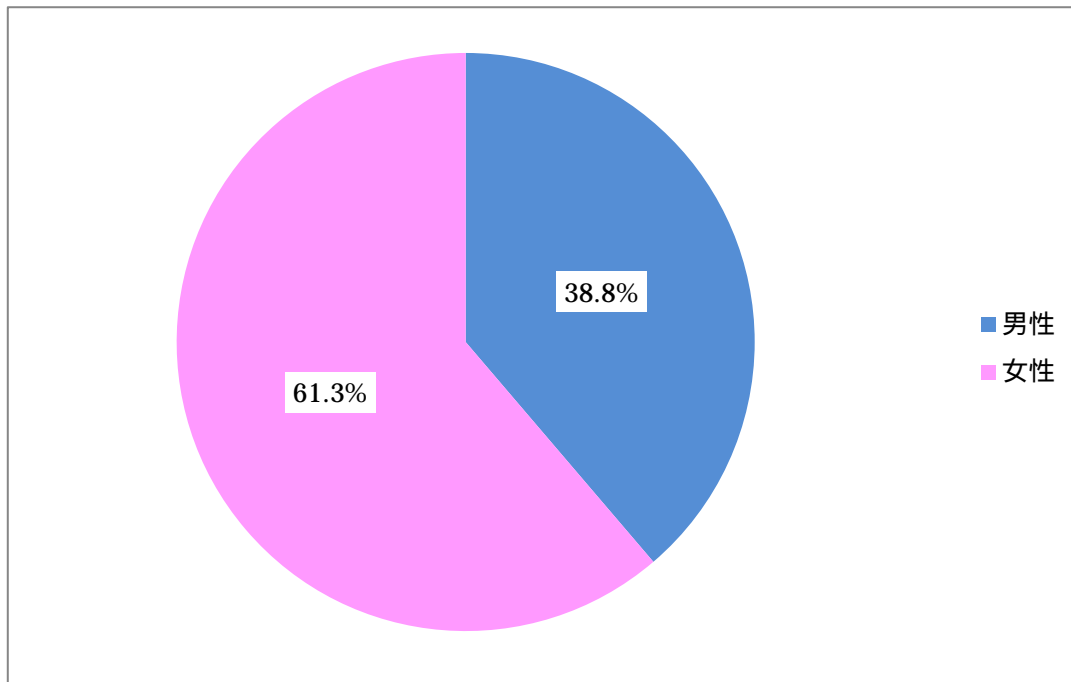
2 . 意見受付期間

8 月 13 日 (月) ~ 9 月 2 日 (日)

3 . 回答者数・回答属性

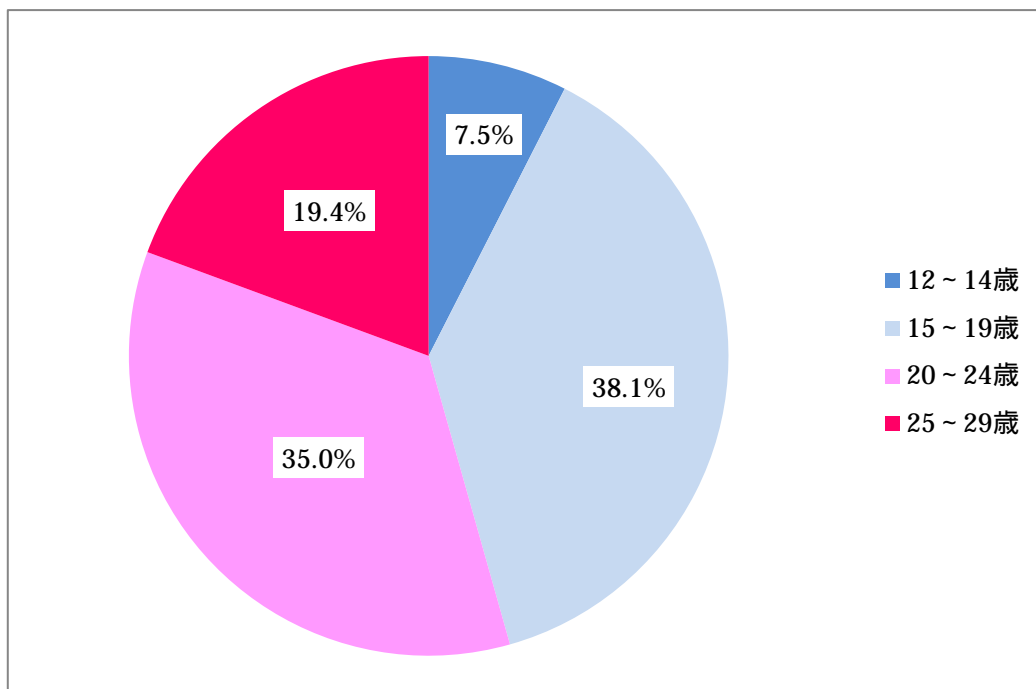
【回答者数】 男性 : 62 名 女性 : 98 名 合計 : 160 名 (配信数 : 262 名、回答率 : 61.1%)

【性別】 男性が 38.8%、女性が 61.3%であった。

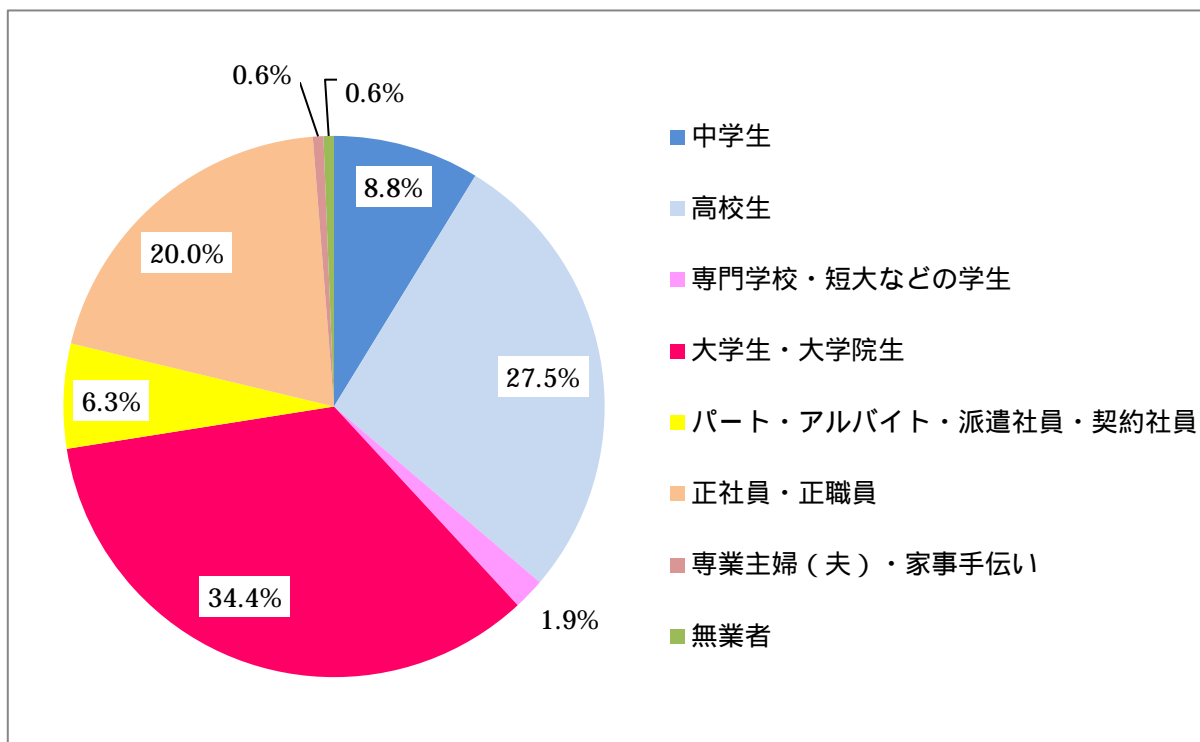


4 平成30年度 第2回青少年意見募集事業結果

【年齢】 12～14歳が7.5%、15～19歳が38.1%、20～24歳が35.0%、25～29歳が19.4%であった。

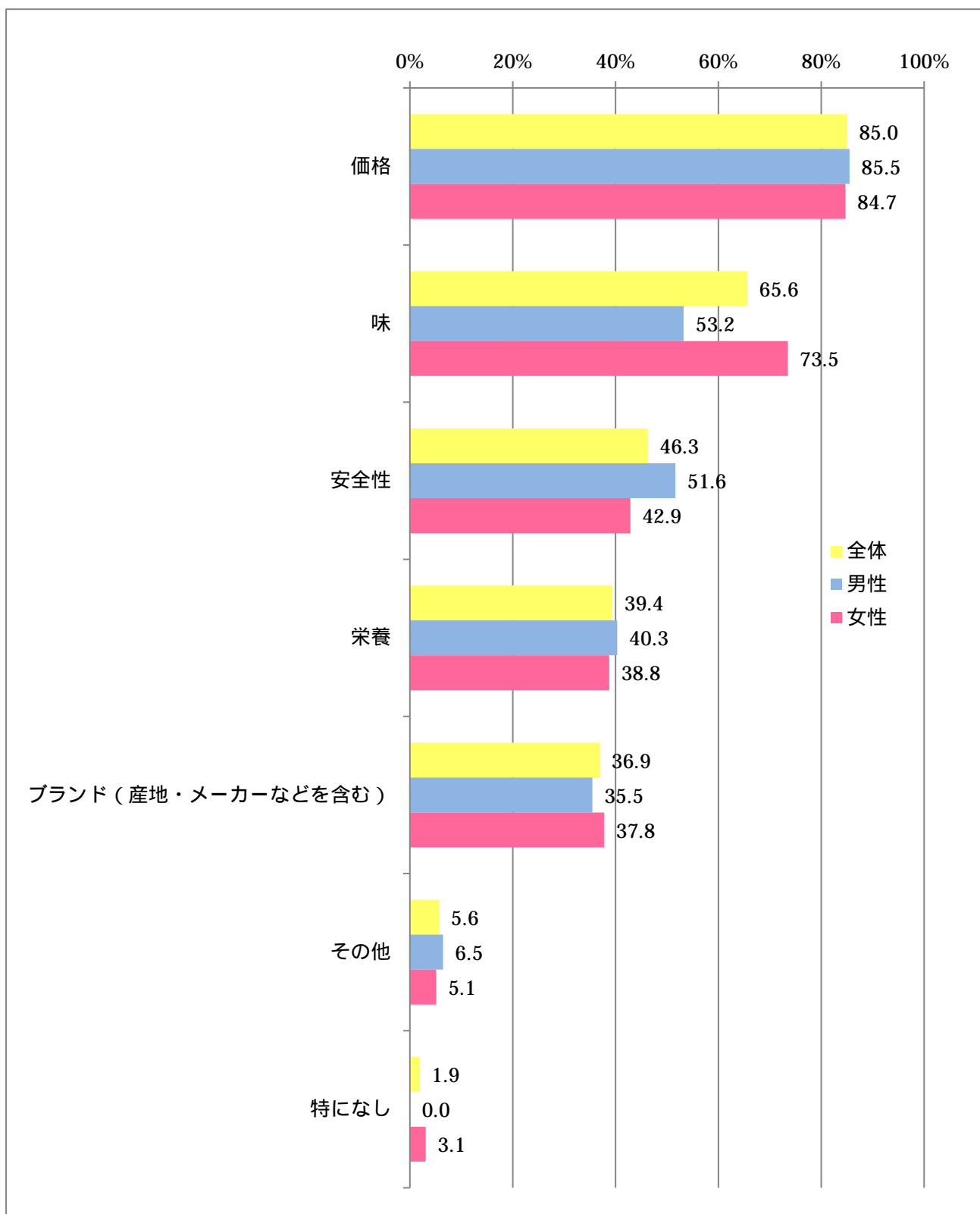


【職業】 中学生が8.8%、高校生が27.5%、専門学校・短大などの学生が1.9%、大学生・大学院生が34.4%、パート・アルバイト・派遣社員・契約社員が6.3%、正社員・正職員が20.0%、専業主婦（夫）・家事手伝いが0.6%、無業者が0.6%であった。



4 . 集計結果

質問 1 ふだんどのようなことに気をつけて食品を選びますか。(複数回答可)



6 平成30年度 第2回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全体	価格	味	安全性	栄養	ブランド（産地・メーカーを含む）	その他	特になし
全体		160 100.0	136 85.0	105 65.6	74 46.3	63 39.4	59 36.9	9 5.6	3 1.9
性別	男性	62 100.0	53 85.5	33 53.2	32 51.6	25 40.3	22 35.5	4 6.5	0 0.0
	女性	98 100.0	83 84.7	72 73.5	42 42.9	38 38.8	37 37.8	5 5.1	3 3.1
年代	12～14歳	12 100.0	9 75.0	8 66.7	6 50.0	7 58.3	4 33.3	2 16.7	1 8.3
	15～19歳	61 100.0	50 82.0	41 67.2	26 42.6	14 23.0	23 37.7	0 0.0	1 1.6
	20～24歳	56 100.0	51 91.1	39 69.6	26 46.4	24 42.9	20 35.7	4 7.1	1 1.8
	25～29歳	31 100.0	26 83.9	17 54.8	16 51.6	18 58.1	12 38.7	3 9.7	0 0.0
性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	男性 15～19歳	22 100.0	18 81.8	13 59.1	12 54.5	4 18.2	11 50.0	0 0.0	0 0.0
	男性 20～24歳	21 100.0	19 90.5	11 52.4	10 47.6	11 52.4	4 19.0	1 4.8	0 0.0
	男性 25～29歳	17 100.0	15 88.2	8 47.1	9 52.9	9 52.9	6 35.3	2 11.8	0 0.0
	女性 12～14歳	10 100.0	8 80.0	7 70.0	5 50.0	6 60.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0
	女性 15～19歳	39 100.0	32 82.1	28 71.8	14 35.9	10 25.6	12 30.8	0 0.0	1 2.6
	女性 20～24歳	35 100.0	32 91.4	28 80.0	16 45.7	13 37.1	16 45.7	3 8.6	1 2.9
	女性 25～29歳	14 100.0	11 78.6	9 64.3	7 50.0	9 64.3	6 42.9	1 7.1	0 0.0
属性別	中学生	14 100.0	11 78.6	10 71.4	6 42.9	7 50.0	4 28.6	2 14.3	1 7.1
	高校生	44 100.0	36 81.8	29 65.9	20 45.5	12 27.3	19 43.2	0 0.0	1 2.3
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0
	大学生・大学院生	55 100.0	48 87.3	37 67.3	23 41.8	18 32.7	14 25.5	2 3.6	1 1.8
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	10 100.0	9 90.0	7 70.0	6 60.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0
	正社員・正職員	32 100.0	28 87.5	19 59.4	16 50.0	21 65.6	15 46.9	3 9.4	0 0.0
	専業主婦（夫）、家事手伝い	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無業者	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 449

全体で見ると、「価格」と回答した割合が 85.0%と最も高く、次いで「味」が 65.6%、「安全性」が 46.3%の順となった。

年代別で見ると、全ての年代で「価格」と回答した割合が最も高く、「20～24 歳」の年代では 9 割を超える回答割合であった。

男女別で見ると、男女とも「価格」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

見た目等

- ⌘ 見た目（女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生）
- ⌘ 見た目、売ってある場所（女性 / 14 歳 / 中学生）

賞味期限等

- ⌘ 賞味期限、消費期限、生産された日にち。（男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生）
- ⌘ 賞味期限（男性 / 13 歳 / 中学生）

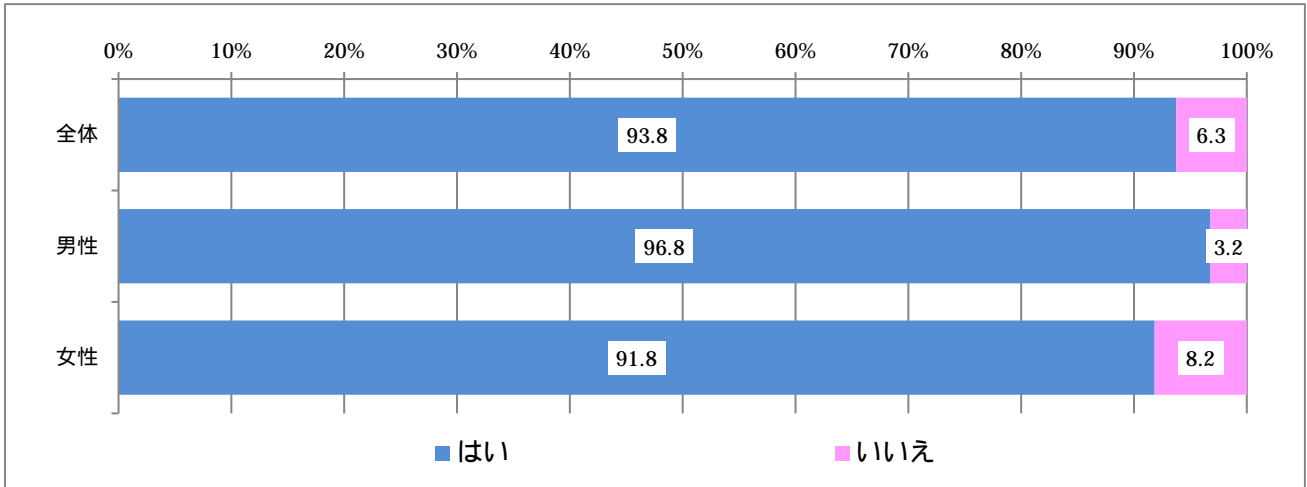
口コミ

- ⌘ 口コミ（男性 / 27 歳 / 正社員・正職員）

素材の品質

- ⌘ 健康、素材の品質（女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生）
- ⌘ 添加物の有無と種類、国産か外国産か。（女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員）
- ⌘ 食物油脂やマーガリン等、海外で当たり前に規制されているものが入っていないか。（男性 / 29 歳 / 正社員・正職員）

質問2 - 1 食品の安全について、気になりますか。



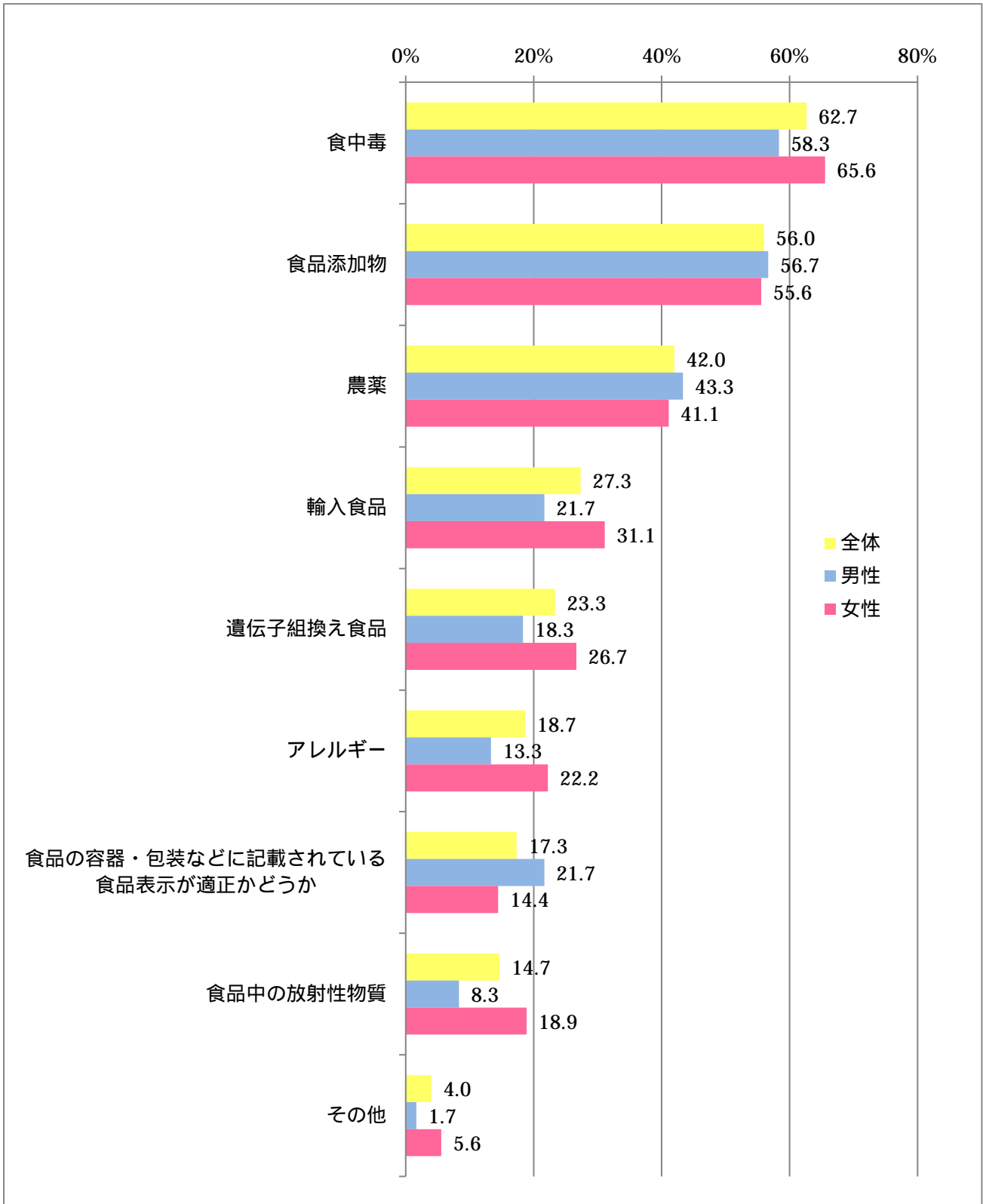
上段：人数 下段：%		全 体	は い	い い え
全体	160	100.0	150 93.8	10 6.3
性別	男性	62	60 96.8	2 3.2
	女性	98	90 91.8	8 8.2
年代	12～14歳	12	12 100.0	0 0.0
	15～19歳	61	59 96.7	2 3.3
	20～24歳	56	52 92.9	4 7.1
	25～29歳	31	27 87.1	4 12.9
性別×年代	男性 12～14歳	2	2 100.0	0 0.0
	男性 15～19歳	22	22 100.0	0 0.0
	男性 20～24歳	21	20 95.2	1 4.8
	男性 25～29歳	17	16 94.1	1 5.9
	女性 12～14歳	10	10 100.0	0 0.0
	女性 15～19歳	39	37 94.9	2 5.1
	女性 20～24歳	35	32 91.4	3 8.6
	女性 25～29歳	14	11 78.6	3 21.4
属性別	中学生	14	14 100.0	0 0.0
	高校生	44	42 95.5	2 4.5
	専門学校・短大などの学生	3	3 100.0	0 0.0
	大学生・大学院生	55	51 92.7	4 7.3
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	10	10 100.0	0 0.0
	正社員・正職員	32	29 90.6	3 9.4
	専業主婦(夫)、家事手伝い	1	0 0.0	1 100.0
	無業者	1	1 100.0	0 0.0

全体で見ると、93.8%が「はい(食品の安全性は気になる)」、6.3%が「いいえ(食品の安全性は気にならない)」と回答した。

年代別で見ると、「はい(食品の安全性は気になる)」と回答した割合は、12歳～24歳では9割以上であった。25歳以上は、全体平均と比べて6.7ポイント低かった。

男女別で見ると、「はい(食品の安全性は気になる)」と回答した割合は、ともに9割以上であった。

質問 2 - 2 (質問 2 - 1 で「はい」を選んだ方) 具体的にはどのようなことが気になりますか。
(複数回答可)



10 平成30年度 第2回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	食 中 毒	食 品 添 加 物	農 薬	輸 入 食 品	遺 伝 子 組 換 え 食 品	ア レ ル ギ ー	食 品 の 容 器 ・ 包 装 な ど に 記 載 さ れ て い る 食 品 表 示 が 適 正 か と う か	食 品 中 の 放 射 性 物 質	そ の 他
全体	150 100.0	94 62.7	84 56.0	63 42.0	41 27.3	35 23.3	28 18.7	26 17.3	22 14.7	6 4.0	
性別	男性	60 100.0	35 58.3	34 56.7	26 43.3	13 21.7	11 18.3	8 13.3	13 21.7	5 8.3	1 1.7
	女性	90 100.0	59 65.6	50 55.6	37 41.1	28 31.1	24 26.7	20 22.2	13 14.4	17 18.9	5 5.6
年代	12～14歳	12 100.0	10 83.3	3 25.0	6 50.0	2 16.7	3 25.0	5 41.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3
	15～19歳	59 100.0	36 61.0	34 57.6	25 42.4	16 27.1	16 27.1	9 15.3	9 15.3	8 13.6	2 3.4
	20～24歳	52 100.0	34 65.4	30 57.7	22 42.3	15 28.8	11 21.2	7 13.5	9 17.3	8 15.4	2 3.8
	25～29歳	27 100.0	14 51.9	17 63.0	10 37.0	8 29.6	5 18.5	7 25.9	6 22.2	3 11.1	1 3.7
性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	男性 15～19歳	22 100.0	13 59.1	12 54.5	9 40.9	4 18.2	5 22.7	3 13.6	4 18.2	2 9.1	1 4.5
	男性 20～24歳	20 100.0	12 60.0	12 60.0	9 45.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0
	男性 25～29歳	16 100.0	8 50.0	10 62.5	6 37.5	3 18.8	1 6.3	4 25.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	女性 12～14歳	10 100.0	8 80.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0
	女性 15～19歳	37 100.0	23 62.2	22 59.5	16 43.2	12 32.4	11 29.7	6 16.2	5 13.5	6 16.2	1 2.7
	女性 20～24歳	32 100.0	22 68.8	18 56.3	13 40.6	9 28.1	7 21.9	6 18.8	3 9.4	6 18.8	2 6.3
	女性 25～29歳	11 100.0	6 54.5	7 63.6	4 36.4	5 45.5	4 36.4	3 27.3	4 36.4	3 27.3	1 9.1
属性別	中学生	14 100.0	11 78.6	5 35.7	7 50.0	3 21.4	4 28.6	7 50.0	3 21.4	4 28.6	1 7.1
	高校生	42 100.0	27 64.3	25 59.5	19 45.2	13 31.0	13 31.0	4 9.5	8 19.0	6 14.3	1 2.4
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	大学生・大学院生	51 100.0	32 62.7	27 52.9	20 39.2	12 23.5	10 19.6	10 19.6	8 15.7	8 15.7	3 5.9
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	10 100.0	6 60.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
	正社員・正職員	29 100.0	16 55.2	19 65.5	14 48.3	6 20.7	5 17.2	3 10.3	5 17.2	3 10.3	1 3.4
	専業主婦（夫）、家事手伝い	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 399

全体で見ると、「食中毒」と回答した割合が 62.7%と最も高く、次いで「食品添加物」が 56.0%、「農薬」が 42.0%の順となった。

年代別で見ると、「12 歳～24 歳」では「食中毒」と回答した割合が最も高く、「25～29 歳」では「食品添加物」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女とも「食中毒」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

鮮度

- ♪ 特にお肉やお魚は新鮮かどうか。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- ♪ 鮮度 (女性 / 27 歳 / 正社員・正職員)

異物混入

- ♪ 異物の混入 (男性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)

食品成分

- ♪ カロリー、含有糖質や脂質、塩分量など。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- ♪ 発がん性の疑われる人工甘味料、コチニール色素。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

消費期限等

- ♪ 消費期限、製造場所と生産者 (女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)

その他

- ♪ 中国の食品が多くなった。中国の場合は製造年月が書いてあり、日本の場合は賞味期限が書いてある。最初は知らなくて、中国の食品の期限が切れているかと思った。(女性 / 12 歳 / 中学生)
- ♪ 寄生虫 (女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- ♪ プラスチックをリサイクルしないことで動物がプラスチックを食べてしまう問題。そのことによって私たちもその動物を食べることによってプラスチックを食べてしまっているのでは、と思うと怖いし、しっかりリサイクルする必要があると思います。(女性 / 13 歳 / 中学生)

質問 2 - 3 (質問 2 - 1 で「いいえ」を選んだ方) 気にならない理由は何ですか。

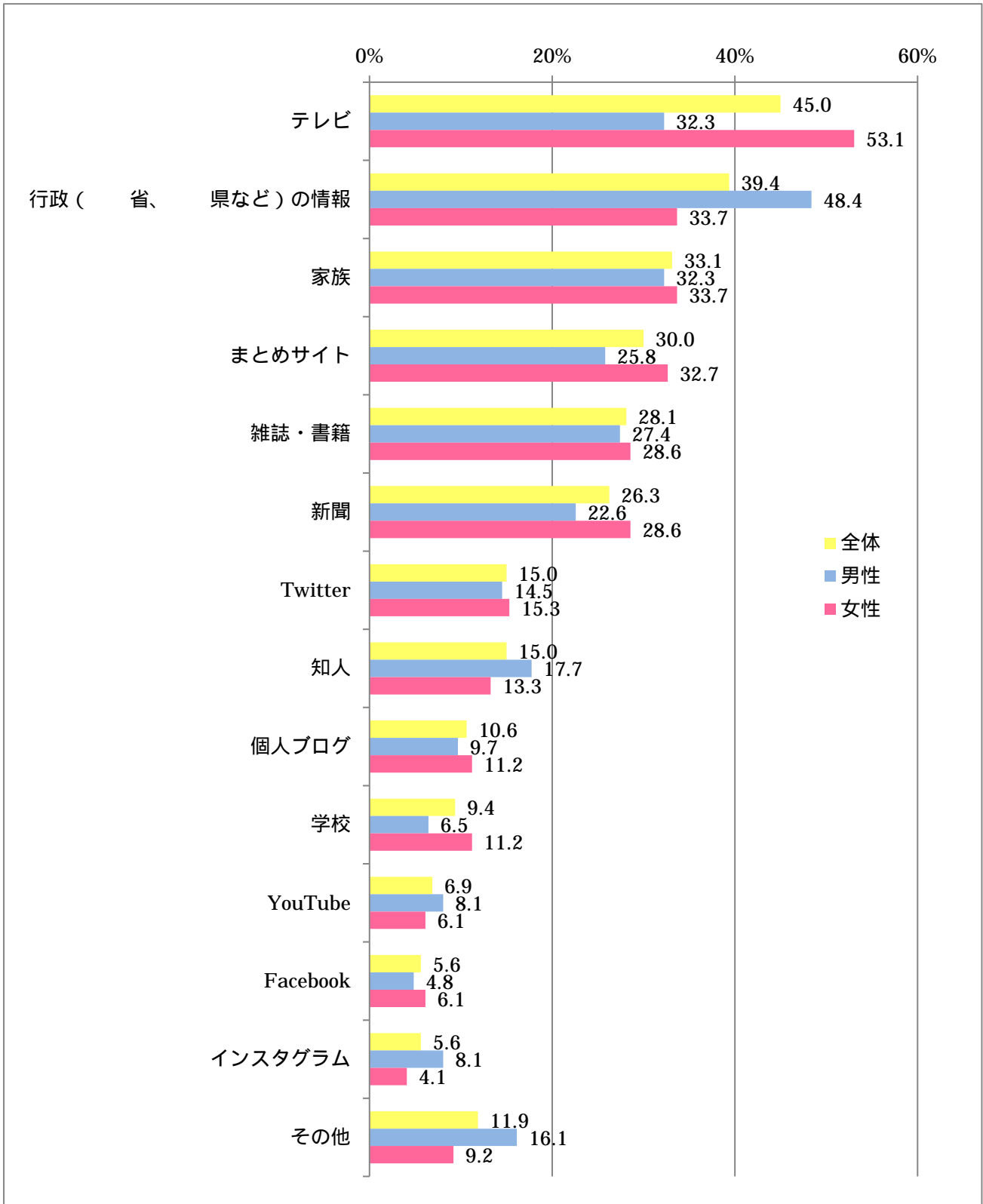
安全であるという意識

- z 安全であって当たり前。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 日本で売っている商品なら基本的に全て安全だろうと思っている。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 食中毒とかは生物だけだと思っているのと、食べて変な味がしなければ大丈夫だと思っているから。
(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 日本は他の国と比べて安全な国だし、ものを食べてお腹を壊すこともほとんどないから。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 今まで、自分が被害にあったことがないから。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 一定の価格と土地性があるところでは食品に対し食中毒を気にすることはない。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 市販されているものは安全だと思っているから。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

食費軽減

- z 添加物などに気を付けていると食費がかさんでしまうため。(女性 / 26 歳 / 正社員・正職員)

質問 3 食品の安全について知りたいときに、どこから情報を得ようと思いますか。
(複数回答可)



14 平成30年度 第2回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全体	テレビ	行政（ 県など） の 情報	家族	ま と め の サ イ ト	雑 誌 ・ 書 籍	新 聞	T w i t t e r	知 人	個 人 プ ロ グ	学 校	Y o u T u b e	F a c e b o o k	イ ン ス タ グ ラ ム	そ の 他
全体	160 100.0	72 45.0	63 39.4	53 33.1	48 30.0	45 28.1	42 26.3	24 15.0	24 15.0	17 10.6	15 9.4	11 6.9	9 5.6	9 5.6	19 11.9	
性別	男性	62 100.0	20 32.3	30 48.4	20 32.3	16 25.8	17 27.4	14 22.6	9 14.5	11 17.7	6 9.7	4 6.5	5 8.1	3 4.8	5 8.1	10 16.1
	女性	98 100.0	52 53.1	33 33.7	33 33.7	32 32.7	28 28.6	28 28.6	15 15.3	13 13.3	11 11.2	11 11.2	6 6.1	6 6.1	4 4.1	9 9.2
年代	12～14歳	12 100.0	9 75.0	1 8.3	6 50.0	3 25.0	3 25.0	4 33.3	1 8.3	5 41.7	0 0.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	15～19歳	61 100.0	33 54.1	25 41.0	21 34.4	19 31.1	8 13.1	16 26.2	11 18.0	7 11.5	5 8.2	7 11.5	7 11.5	2 3.3	8 13.1	4 6.6
	20～24歳	56 100.0	21 37.5	24 42.9	20 35.7	14 25.0	19 33.9	17 30.4	9 16.1	7 12.5	7 12.5	4 7.1	3 5.4	5 8.9	1 1.8	6 10.7
	25～29歳	31 100.0	9 29.0	13 41.9	6 19.4	12 38.7	15 48.4	5 16.1	3 9.7	5 16.1	5 16.1	1 3.2	0 0.0	2 6.5	0 0.0	7 22.6
	性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別×年代	男性 15～19歳	22 100.0	11 50.0	10 45.5	9 40.9	7 31.8	5 22.7	6 27.3	4 18.2	4 18.2	2 9.1	2 9.1	5 22.7	1 4.5	4 18.2	2 9.1
性別×年代	男性 20～24歳	21 100.0	4 19.0	12 57.1	8 38.1	2 9.5	5 23.8	4 19.0	3 14.3	5 23.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0	1 4.8	1 4.8	2 9.5
性別×年代	男性 25～29歳	17 100.0	4 23.5	8 47.1	3 17.6	7 41.2	7 41.2	3 17.6	2 11.8	2 11.8	3 17.6	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	5 29.4
性別×年代	女性 12～14歳	10 100.0	8 80.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
性別×年代	女性 15～19歳	39 100.0	22 56.4	15 38.5	12 30.8	12 30.8	3 7.7	10 25.6	7 17.9	3 7.7	3 7.7	5 12.8	2 5.1	1 2.6	4 10.3	2 5.1
性別×年代	女性 20～24歳	35 100.0	17 48.6	12 34.3	12 34.3	12 34.3	14 40.0	13 37.1	6 17.1	2 5.7	6 17.1	2 5.7	3 8.6	4 11.4	0 0.0	4 11.4
性別×年代	女性 25～29歳	14 100.0	5 35.7	5 35.7	3 21.4	5 35.7	8 57.1	2 14.3	1 7.1	3 21.4	2 14.3	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	2 14.3
属性別	中学生	14 100.0	11 78.6	1 7.1	7 50.0	3 21.4	4 28.6	5 35.7	2 14.3	5 35.7	0 0.0	4 28.6	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3
	高校生	44 100.0	23 52.3	19 43.2	15 34.1	14 31.8	6 13.6	13 29.5	9 20.5	5 11.4	3 6.8	6 13.6	6 13.6	2 4.5	6 13.6	3 6.8
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
	大学生・大学院生	55 100.0	23 41.8	25 45.5	15 27.3	15 27.3	14 25.5	16 29.1	7 12.7	5 9.1	8 14.5	5 9.1	3 5.5	2 3.6	2 3.6	3 5.5
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	10 100.0	6 60.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	6 60.0	4 40.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0
	正社員・正職員	32 100.0	7 21.9	14 43.8	12 37.5	13 40.6	14 43.8	4 12.5	5 15.6	6 18.8	6 18.8	0 0.0	0 0.0	3 9.4	1 3.1	7 21.9
	専業主婦（夫）、家事手伝い	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 451

全体で見ると、「テレビ」と回答した割合が 45.0%と最も高く、次いで「行政（ 省、 県など）の情報」が 39.4%、「家族」が 33.1%の順となった。

年代別で見ると、「12 歳～19 歳」では「テレビ」と回答した割合が最も高く、「20～24 歳」では「行政（ 省、 県など）の情報」、「25～29 歳」では「雑誌・書籍」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男性は「行政（ 省、 県など）の情報」が最も高く、女性は「テレビ」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

企業のホームページ

- ⌘ 食品メーカーのホームページ（男性 / 17 歳 / 高校生）
- ⌘ 食品を製造・輸入する企業 HP（男性 / 22 歳 / 正社員・正職員）
- ⌘ メーカーなど信頼できそうなウェブサイト（男性 / 29 歳 / 正社員・正職員）

インターネットの検索エンジン等

- ⌘ スマホ(Google)（男性 / 14 歳 / 中学生）
- ⌘ Google（女性 / 17 歳 / 高校生）
- ⌘ インターネットの検索（女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生）
- ⌘ ウィキペディア（女性 / 29 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員）

ラベル表示

- ⌘ 商品のラベル表示をしっかりと確認する。（女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員）

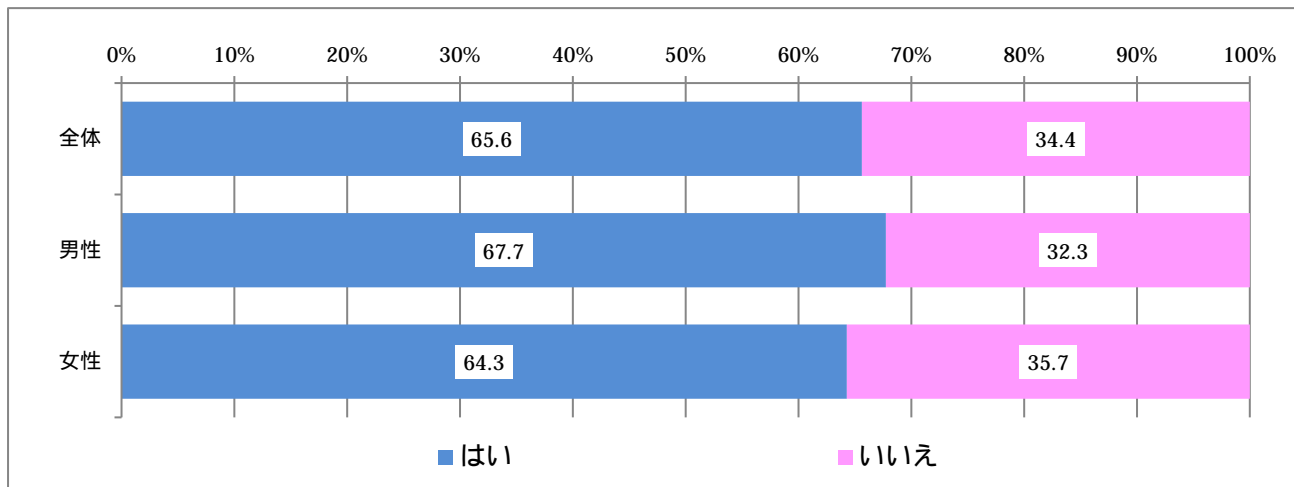
学校

- ⌘ 学校で教えてほしい。テレビでも知りたい。（女性 / 12 歳 / 中学生）

生産者等からの情報

- ⌘ 生産者や製造者から直接、情報を得る。ほかに、研究機関から。（女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生）

質問 4 - 1 食品の安全に関するニュースで、印象に残っているものはありますか。



上段：人数 下段：%		全 体	は い	い い え
全体	160	100.0	105 65.6	55 34.4
性別	男性	62 100.0	42 67.7	20 32.3
	女性	98 100.0	63 64.3	35 35.7
年代	12～14歳	12 100.0	5 41.7	7 58.3
	15～19歳	61 100.0	41 67.2	20 32.8
	20～24歳	56 100.0	41 73.2	15 26.8
	25～29歳	31 100.0	18 58.1	13 41.9
	性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0
男性 15～19歳		22 100.0	19 86.4	3 13.6
男性 20～24歳		21 100.0	12 57.1	9 42.9
男性 25～29歳		17 100.0	10 58.8	7 41.2
女性 12～14歳		10 100.0	4 40.0	6 60.0
女性 15～19歳		39 100.0	22 56.4	17 43.6
女性 20～24歳		35 100.0	29 82.9	6 17.1
女性 25～29歳		14 100.0	8 57.1	6 42.9
属性別		中学生	14 100.0	5 35.7
	高校生	44 100.0	34 77.3	10 22.7
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	2 66.7	1 33.3
	大学生・大学院生	55 100.0	39 70.9	16 29.1
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	10 100.0	6 60.0	4 40.0
	正社員・正職員	32 100.0	18 56.3	14 43.8
	専業主婦(夫)、家事手伝い	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	0 0.0

全体で見ると、65.6%が「はい」、34.4%が「いいえ」と回答した。

年代別で見ると、12歳～14歳では「いいえ」と回答した割合が高く、15歳以上では「はい」と回答した割合が高かった。15歳以上になると、食品の安全に関するニュースについてより気にかける傾向がみられた。

男女別で見ると、「はい」と回答した割合は、男女ともに「いいえ」を上回る結果であった。男女差で大きな差は見受けられなかった。

質問 4 - 2 (「はい」を選んだ方) 具体的に印象に残っていることをお書きください。

異物混入

- z 異物混入のニュースです。(女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 学校給食にゴキブリが混入していたニュースに驚きました。防ぎようがないのかもしれませんが、生徒がトラウマになって給食を食べられなくなる可能性もあることだと感じました。(女性 / 26 歳 / 正社員・正職員)
- z 輸入されたシューマイからの異物の混入 (男性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 乳児用ミルクの粉末に良くないものが入っていた、というニュース(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z ファーストフードチェーンの異物混入、食中毒患者を出した店の営業停止 (女性 / 13 歳 / 中学生)

食品情報表示・賞味期限の偽装

- z 食品表示の偽装問題 (男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 賞味期限切れの材料を使っていたり、衛生面で不安の残る方法で調理していたこと。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 賞味期限を偽装 (女性 / 17 歳 / 高校生)
- z 牛肉偽装事件、某料亭の事件 (女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 小学校の給食に使われている食材の消費期限切れ問題 (男性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 牛肉の期限切れ問題, 小麦粉でのダニアレルギー (女性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

食中毒

- z 焼肉などの食中毒で死者が出たニュース (男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 牛乳メーカーの食中毒事件、お菓子の賞味期限改ざん事件が印象に残っています。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 総菜店で食中毒発生 (女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 学校で起こる集団食中毒 (男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 牛肉の生レバー事件(焼肉のお店で、ユッケを食べた客が食中毒になり死亡した事件) (女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 少し前だけれど、生肉のユッケで食中毒が起きた事件 (女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

遺伝子組み換え

- z 遺伝子組み換え (女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

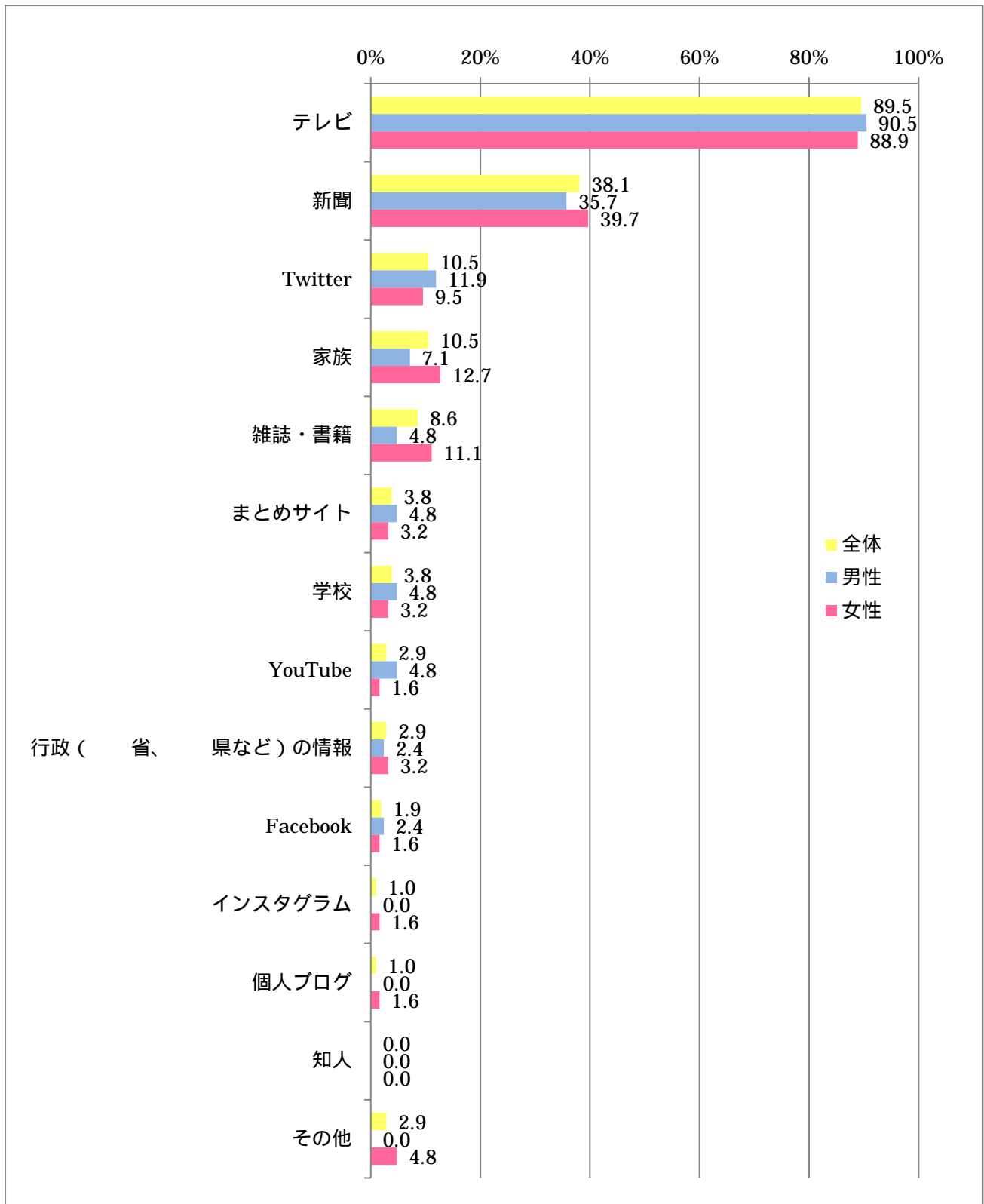
薬物等の混入

- z ギョーザの農薬混入事件（男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生）
- z メタミドホス混入の餃子、ファーストフードチェーンにおける異物混入（女性 / 24 歳 / 正社員・正職員）
- z 毒入りカレー事件（男性 / 27 歳 / 正社員・正職員）
- z 冷凍餃子へのメタミドホスの混入というのは、入ってない他の餃子も全て食べたくなくなった。あとはウインナーが添加物だらけというニュースがあった時も、ウインナーを避けてしまっていたが、結局今では食べている。（男性 / 22 歳 / 正社員・正職員）
- z 餃子への毒物混入事件、カレーへの青酸カリ混入事件（男性 / 28 歳 / 正社員・正職員）
- z 輸入食品から安全値を越す農薬が検出されたこと。（女性 / 17 歳 / 高校生）
- z 放射能汚染問題（女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生）
- z 食品工場での農薬混入事件（男性 / 16 歳 / 高校生）

その他

- z 某雑誌の「食べてはいけない『国産食品』」実名リスト（男性 / 28 歳 / 正社員・正職員）
- z ナツメグをひと瓶カレーにいれてしまい、幻覚症状やめまいで倒れてしまった方の症状が記憶に残っています。調味料も適量使用でないと身体に異常をきたすということがよくわかり、こわかったです。（女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員）
- z 口蹄疫。ちょうど祖父が牛肉を育てて出荷する仕事をしていて、その後始末として沢山の牛を殺さなくてはいけなかったから。（女性 / 17 歳 / 高校生）
- z 夏休みの自由研究で土に戻るプラスチックをつくりました。そのときにプラスチックに関する雑誌を図書館で借りて読んだらプラスチックに関係する信じられないようなことがいっぱい書いてあったので印象に残っています。そこには私たちはマイクロプラスチックを食べた動物を食べていると書いてあってびっくりしました。（女性 / 13 歳 / 中学生）

質問 4 - 3 (質問 4 - 1 で「はい」を選んだ方) そのニュースはどこで知りましたか。
(複数回答可)



20 平成 30 年度 第 2 回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	テ レ ビ	新 聞	T w i t t e r	家 族	雑 誌 ・ 書 籍	ま と め サ イ ト	学 校	Y o u T u b e	行 政 （ 県 な ど ） の 情 報	F a c e b o o k	イ ン ス タ グ ラ ム	個 人 プ ロ グ	知 人	そ の 他	
全体	105 100.0	94 89.5	40 38.1	11 10.5	11 10.5	9 8.6	4 3.8	4 3.8	3 2.9	3 2.9	3 2.9	2 1.9	1 1.0	1 1.0	0 0.0	3 2.9	
性別	男性	42 100.0	38 90.5	15 35.7	5 11.9	3 7.1	2 4.8	2 4.8	2 4.8	2 4.8	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	女性	63 100.0	56 88.9	25 39.7	6 9.5	8 12.7	7 11.1	2 3.2	2 3.2	1 1.6	2 3.2	1 1.6	1 1.6	1 1.6	0 0.0	3 4.8	
年代	12～14歳	5 100.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	15～19歳	41 100.0	38 92.7	15 36.6	4 9.8	3 7.3	2 4.9	1 2.4	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	
	20～24歳	41 100.0	38 92.7	17 41.5	6 14.6	4 9.8	5 12.2	1 2.4	2 4.9	2 4.9	3 7.3	2 4.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	
	25～29歳	18 100.0	13 72.2	7 38.9	1 5.6	3 16.7	1 5.6	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6
	男性 12～14歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別×年代	男性 15～19歳	19 100.0	18 94.7	7 36.8	2 10.5	1 5.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	男性 20～24歳	12 100.0	11 91.7	4 33.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	男性 25～29歳	10 100.0	8 80.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性 12～14歳	4 100.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性 15～19歳	22 100.0	20 90.9	8 36.4	2 9.1	2 9.1	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	0 0.0	1 4.5	
	女性 20～24歳	29 100.0	27 93.1	13 44.8	3 10.3	3 10.3	5 17.2	0 0.0	1 3.4	1 3.4	2 6.9	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.4
	女性 25～29歳	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	中学生	5 100.0	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
属性別	高校生	34 100.0	31 91.2	11 32.4	4 11.8	3 8.8	2 5.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	1 2.9	1 2.9	0 0.0	1 2.9	
	専門学校・短大などの学生	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	大学生・大学院生	39 100.0	35 89.7	14 35.9	5 12.8	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	1 2.6	2 5.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.1
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	6 100.0	6 100.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	正社員・正職員	18 100.0	15 83.3	9 50.0	1 5.6	4 22.2	3 16.7	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6
	専業主婦（夫）、家事手伝い	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 186

全体で見ると、「テレビ」と回答した割合が 89.5%と最も高く、次いで「新聞」が 38.1%、「Twitter」と「家族」が同率で 10.5%の順となった。

年代別で見ると、全ての年代で「テレビ」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ても、「テレビ」と回答した割合が最も高かった。

質問 4 - 4 (質問 4 - 3 で「その他」と答えた方) 具体的な発信元をお書きください。
(自由記述)

店頭

z 店頭掲示 (女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

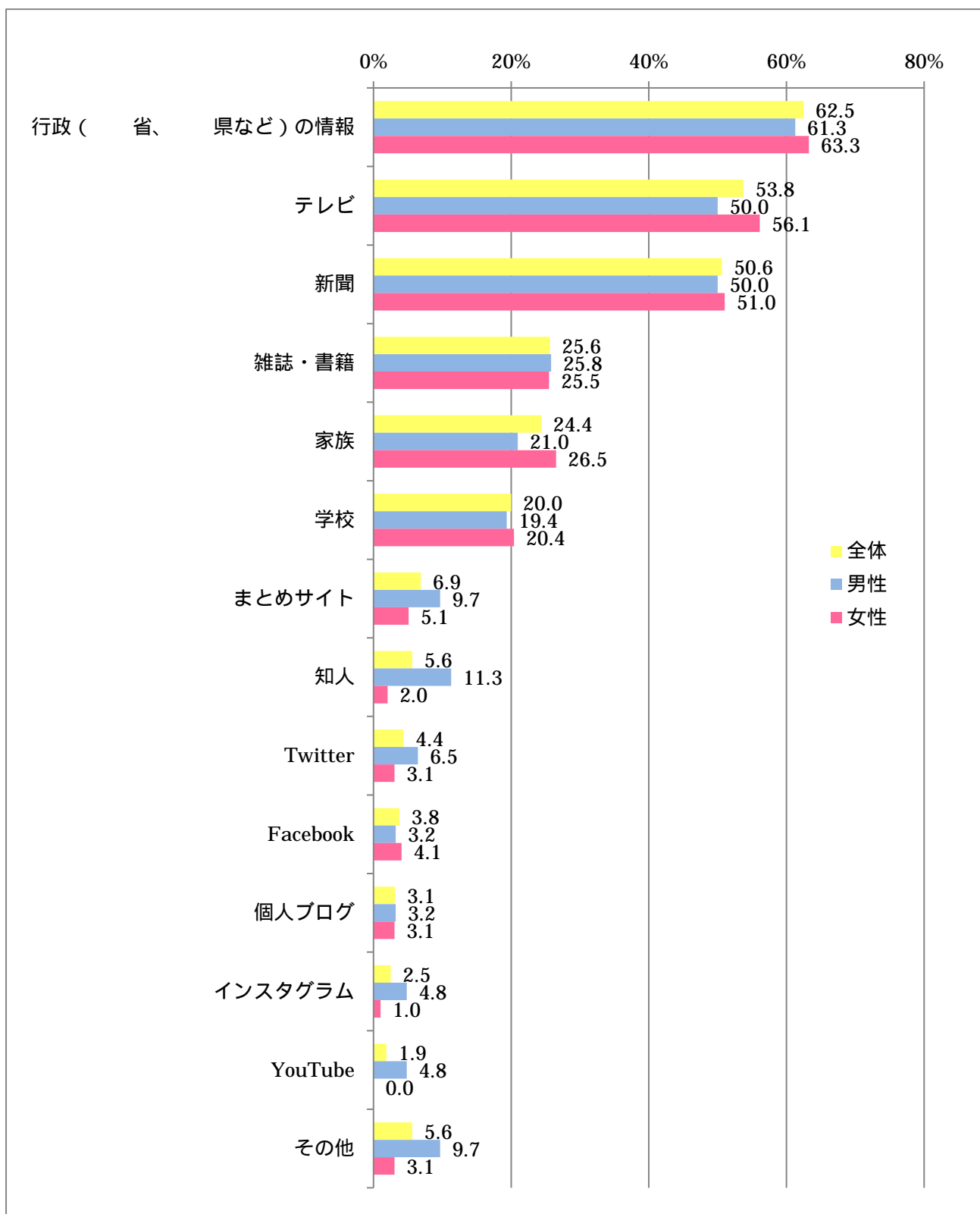
インターネット

z インターネット「yahoo news」 (女性 / 29 歳 / 正社員・正職員)

学校の資料

z 社会の資料集 (女性 / 17 歳 / 高校生)

質問 5 食品の安全に関する情報のうち、どこから発信されたものを信頼しますか。
(複数回答可)



23 平成 30 年度 第 2 回青少年意見募集事業結果

上段：人数 下段：%		全 体	行政 （ 県など の 情報	テ レ ビ	新 聞	雑 誌・ 書 籍	家 族	学 校	ま と め サ イ ト	知 人	T w i t t e r	F a c e b o o k	個 人 ブ ロ グ	イ ン ス タ グ ラ ム	Y o u T u b e	そ の 他	
全体	160 100.0	100 62.5	86 53.8	81 50.6	41 25.6	39 24.4	32 20.0	11 6.9	9 5.6	7 4.4	6 3.8	5 3.1	4 2.5	3 1.9	9 5.6		
性別	男性	62 100.0	38 61.3	31 50.0	31 50.0	16 25.8	13 21.0	12 19.4	6 9.7	7 11.3	4 6.5	2 3.2	2 3.2	3 4.8	3 4.8	6 9.7	
	女性	98 100.0	62 63.3	55 56.1	50 51.0	25 25.5	26 26.5	20 20.4	5 5.1	2 2.0	3 3.1	4 4.1	3 3.1	1 1.0	0 0.0	3 3.1	
年代	12～14歳	12 100.0	5 41.7	8 66.7	5 41.7	2 16.7	4 33.3	4 33.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	15～19歳	61 100.0	36 59.0	36 59.0	32 52.5	12 19.7	14 23.0	11 18.0	4 6.6	3 4.9	4 6.6	2 3.3	2 3.3	3 4.9	2 3.3	2 3.3	
	20～24歳	56 100.0	38 67.9	26 46.4	29 51.8	17 30.4	17 30.4	13 23.2	3 5.4	3 5.4	3 5.4	2 3.6	1 1.8	0 0.0	1 1.8	0 0.0	
	25～29歳	31 100.0	21 67.7	16 51.6	15 48.4	10 32.3	4 12.9	4 12.9	4 12.9	2 6.5	0 0.0	2 6.5	2 6.5	1 3.2	0 0.0	0 0.0	7 22.6
	性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
男性 15～19歳	22 100.0	12 54.5	13 59.1	12 54.5	6 27.3	5 22.7	6 27.3	3 13.6	3 13.6	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 9.1	2 9.1	
男性 20～24歳	21 100.0	15 71.4	8 38.1	11 52.4	5 23.8	7 33.3	5 23.8	1 4.8	3 14.3	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	
男性 25～29歳	17 100.0	10 58.8	9 52.9	7 41.2	5 29.4	1 5.9	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0	2 11.8	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	4 23.5	
女性 12～14歳	10 100.0	4 40.0	7 70.0	4 40.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性 15～19歳	39 100.0	24 61.5	23 59.0	20 51.3	6 15.4	9 23.1	5 12.8	1 2.6	0 0.0	1 2.6	2 5.1	2 5.1	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性 20～24歳	35 100.0	23 65.7	18 51.4	18 51.4	12 34.3	10 28.6	8 22.9	2 5.7	0 0.0	2 5.7	2 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
女性 25～29歳	14 100.0	11 78.6	7 50.0	8 57.1	5 35.7	3 21.4	3 21.4	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 21.4	
属性別	中学生	14 100.0	5 35.7	9 64.3	6 42.9	2 14.3	5 35.7	4 28.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	高校生	44 100.0	27 61.4	24 54.5	25 56.8	10 22.7	11 25.0	10 22.7	4 9.1	3 6.8	4 9.1	2 4.5	1 2.3	3 6.8	2 4.5	2 4.5	
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	大学生・大学院生	55 100.0	37 67.3	29 52.7	29 52.7	12 21.8	10 18.2	12 21.8	2 3.6	1 1.8	3 5.5	2 3.6	2 3.6	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0
	パート・アルバイト・派遣社員・ 契約社員	10 100.0	6 60.0	8 80.0	7 70.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	正社員・正職員	32 100.0	22 68.8	12 37.5	11 34.4	12 37.5	9 28.1	3 9.4	5 15.6	3 9.4	0 0.0	2 6.3	2 6.3	1 3.1	0 0.0	0 0.0	6 18.8
	専業主婦（夫）、家事手伝い	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 433

全体で見ると、「行政（ 省、 県など）の情報」と回答した割合が 62.5%と最も高く、次いで「テレビ」が 53.8%、「新聞」で 50.6%の順となった。

年代別で見ると、「12 歳～19 歳」では「テレビ」と回答した割合が最も高く、20 歳以上では「行政（ 省、 県など）の情報」と回答した割合が最も高かった。

男女別で見ると、男女ともに「行政（ 省、 県など）の情報」と回答した割合が最も高かった。

「その他」の具体的な内容として提出された主な意見

メーカー・生産元

- ⌘ その食品のメーカー、生産元。（男性 / 16 歳 / 高校生）
- ⌘ 生産者や製造者から直接、情報を得る。また、行政・メディア・当事者からの情報を総合して、情報の信頼度を判断する。（女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生）
- ⌘ 食品メーカーのホームページ（男性 / 17 歳 / 高校生）

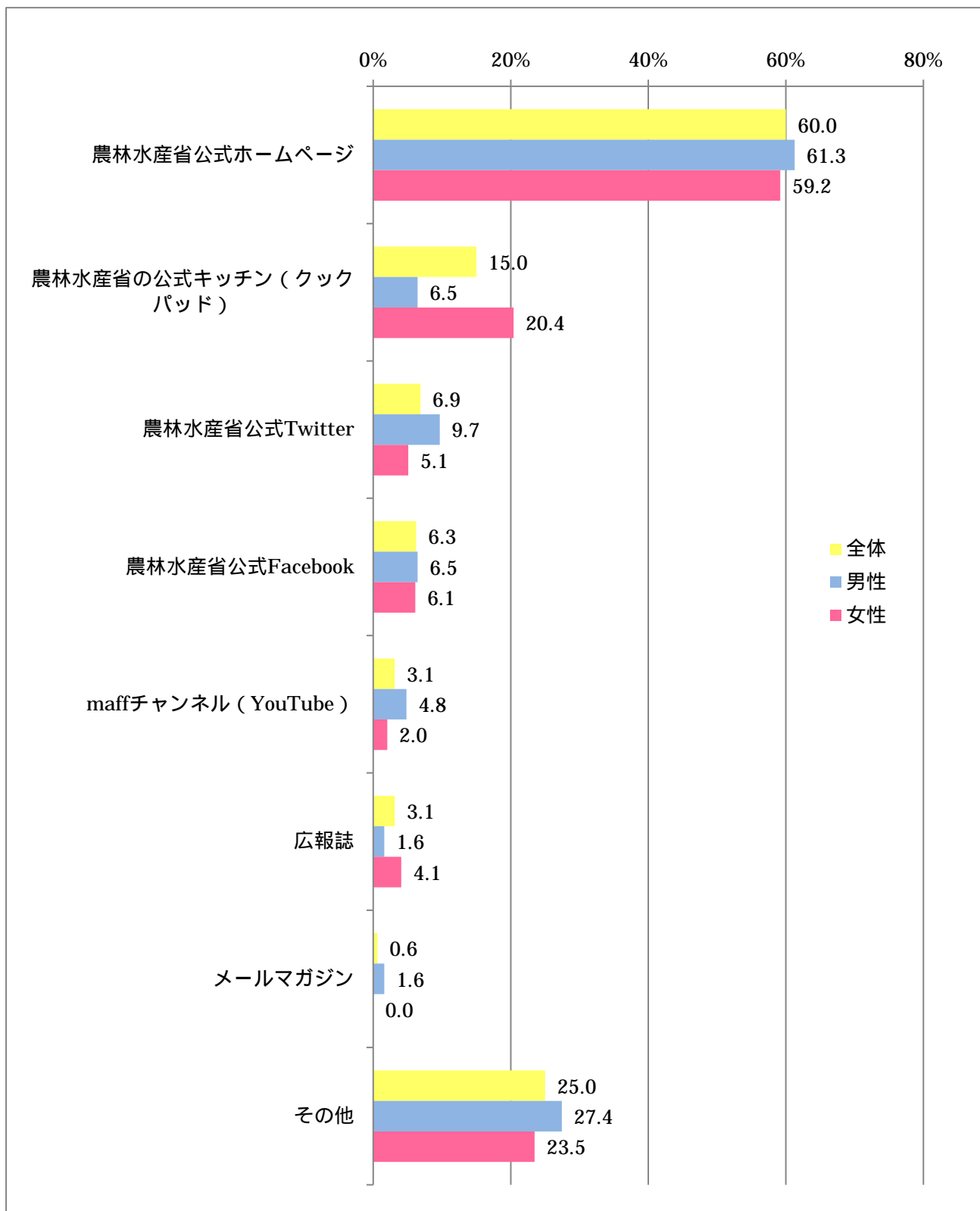
専門家・有識者

- ⌘ 有識者やジャーナリストの個人発信情報であっても、一次情報が明記されて、個人としてある程度検証可能なものなら、それらの発信元も信頼たりうる。（男性 / 27 歳 / 正社員・正職員）
- ⌘ 専門家が出しているサイト（女性 / 29 歳 / 正社員・正職員）

その他

- ⌘ 複数のインターネットサイトで確認。（男性 / 28 歳 / 正社員・正職員）
- ⌘ 食品添加物に関する取組で先行している国のサイトやテレビ等の情報（男性 / 29 歳 / 正社員・正職員）

質問 6 農林水産省では以下のツールを使って広報を行っていますが、これらのうち知っているものはありますか。(複数回答可)



上段：人数 下段：%		全体	農林水産省公式ホームページ	農林水産省の公式キツチン（クックパッド）	農林水産省公式Twitter	農林水産省公式Facebook	ma f YouTube（YouTube）	広報誌	メールマガジン	その他
全体	160 100.0	96 60.0	24 15.0	11 6.9	10 6.3	5 3.1	5 3.1	1 0.6	40 25.0	
性別	男性	62 100.0	38 61.3	4 6.5	6 9.7	4 6.5	3 4.8	1 1.6	1 1.6	17 27.4
	女性	98 100.0	58 59.2	20 20.4	5 5.1	6 6.1	2 2.0	4 4.1	0 0.0	23 23.5
年代	12～14歳	12 100.0	4 33.3	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3
	15～19歳	61 100.0	35 57.4	10 16.4	5 8.2	3 4.9	0 0.0	1 1.6	0 0.0	14 23.0
	20～24歳	56 100.0	35 62.5	9 16.1	5 8.9	6 10.7	4 7.1	3 5.4	0 0.0	14 25.0
	25～29歳	31 100.0	22 71.0	1 3.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	1 3.2	8 25.8
性別×年代	男性 12～14歳	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	男性 15～19歳	22 100.0	14 63.6	2 9.1	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 22.7
	男性 20～24歳	21 100.0	10 47.6	2 9.5	3 14.3	2 9.5	2 9.5	1 4.8	0 0.0	8 38.1
	男性 25～29歳	17 100.0	13 76.5	0 0.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	1 5.9	3 17.6
	女性 12～14歳	10 100.0	3 30.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0
	女性 15～19歳	39 100.0	21 53.8	8 20.5	3 7.7	2 5.1	0 0.0	1 2.6	0 0.0	9 23.1
	女性 20～24歳	35 100.0	25 71.4	7 20.0	2 5.7	4 11.4	2 5.7	2 5.7	0 0.0	6 17.1
	女性 25～29歳	14 100.0	9 64.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	5 35.7
属性別	中学生	14 100.0	5 35.7	5 35.7	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6
	高校生	44 100.0	24 54.5	6 13.6	4 9.1	3 6.8	0 0.0	1 2.3	0 0.0	12 27.3
	専門学校・短大などの学生	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大学生・大学院生	55 100.0	36 65.5	8 14.5	2 3.6	2 3.6	3 5.5	3 5.5	0 0.0	13 23.6
	パート・アルバイト・派遣社員・契約社員	10 100.0	7 70.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	2 20.0
	正社員・正職員	32 100.0	20 62.5	4 12.5	3 9.4	4 12.5	1 3.1	0 0.0	1 3.1	8 25.0
	専業主婦（夫）、家事手伝い	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	無業者	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

複数回答有り：回答数 192

全体で見ると、「農林水産省公式ホームページ」と回答した割合が 60.0%と最も高く、次いで「その他」が 25.0%、「農林水産省の公式キッチン（クックパッド）」が 15.0%の順となった。

年代別で見ると、全ての年代で「農林水産省公式ホームページ」と回答した割合が最も高かった。また、年齢が上がるにつれて、「農林水産省公式ホームページ」と回答する割合は高くなった。

男女別で見ると、男女とも「農林水産省公式ホームページ」と回答した割合が最も高かった。

「メールマガジン」 / 「広報誌」 / 「その他」の具体的な名称または情報源として提出された主な意見
メールマガジン

い 農業担い手メールマガジン（男性 / 28 歳 / 正社員・正職員）

広報誌

い aff（農林水産省広報誌）（女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生）

その他

い 全部知らない。（女性 / 17 歳 / 高校生）

い 知っているツールはありません。（男性 / 17 歳 / 高校生）

い ホームページはあるだろうが、見たことは無い。（女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生）

質問 7 食品の安全に関する情報はたくさんありますが、その中から必要な情報を選ぶときに気をつけていることは何かありますか。

情報の正確性・信頼性

- z 情報源が確かかどうか。テレビやネットニュースから情報を得る際は、情報源が不確かなものもあるので、気をつけている。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 信頼できる情報かどうか。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z ソースが信用できるものであるかは見ている。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 出来るだけ信頼性の高いソースから情報を得ようと心がけている。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 信頼できるソースであるか(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- z 発信元が正確で、科学的に説明されているかどうか。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- z 情報がきちんと事実に基づいているか(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z しっかりとした発信元(行政機関や研究機関)が提供している情報かどうかや、最新の情報かなど出来るだけ新しい情報かどうか気をつけている。(男性 / 17 歳 / 高校生)

発信源

- z 信頼できる行政の発信する情報を一番に考えている。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 基本的に行政のページしか見ない、気になったら農水省等に直接電話で聞く。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 公式な機関から出ている情報か否かということ。また日本国内で生産された作物と海外で生産された作物とでは、農薬の規制基準が違うと思うのでその中でも安全そうなものを選ぶようにしています。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 国や行政発表している情報から調べるようにしていること。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 以前から添加物や着色料などについて研究している著者を選ぶ。(男性 / 26 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 書籍の執筆者の経歴(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)
- z 情報発信者がだれか(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 発信源。(女性 / 19 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)

複数情報を総合的に判断

- z なんでも鵜呑みにしたら、何も食べられなくなってしまうので、重要度で取捨選択をしている。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 食品の安全に限らないが、日本語だけでなく、英語のメディアにも目を通して情報を得る。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z 間違った情報の可能性があるので、複数の情報を見て判断する。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z ひとつの情報源だけでなく、いくつかの情報を照らし合わせて判断する。(女性 / 21 歳 / 大学生・大

学院生)

- z ほんとうにその情報が正しいかは分からないので、複数の情報を見て取捨選択をしたり、信じすぎないようにしている。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 「その情報の信憑性があるかどうか」「本当に正しい情報なのか」という視点から、選択するようにしている。食品の安全に関する情報は、膨大で且つ全ての情報が正しいとは限らない。信頼できる公的な機関などが発信している情報から、正しい情報を得るように努めている。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 食品の安全に関する情報を真剣に選ぶということは今までありませんでした。もし選ぶなら、信用ができるものを選ぶように気を付けると思います。あと、幅広く物事を見るようにしています。マスコミの報道は過熱すると偏る傾向があるので、テレビや新聞や友達や親から幅広く情報を得るのが大切だと思います。(男性 / 17 歳 / 高校生)

食品の産地

- z 原材料の産地 (女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 食品の詳細欄をみて、生産地や加工物の場合は添加物などを確認している。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 国産かどうか (女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

親からの情報

- z 親の情報 (女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 私は、食品の選び方を母親から教わっています。特に、この食材はどれくらい日持ちするのか等は経験豊富な母親が一番詳しいので、母親を介して食品の安全に関する知識を得ています。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)

添加物・農薬

- z 農薬について一番気になります。海外に旅行した時に、オレンジを買って触ったら農薬が手にべっとりくっついたので水道水で洗ったのですが、それでも取れませんでした。農薬がたくさん使われているものは食べる気がしません。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

特になし

- z 食品は代替品が沢山あり、安全ではないとされているものは避ければ良い為、特に情報の真偽を再度確認する、という事はしていない。(女性 / 24 歳 / 大学生・大学院生)

その他

- z 菌の処理の仕方と菌にかかった際の症例 (男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z まだ自分で食事を作ったり、食事をつくる為に買い物に行くということをしていないので、具体的に心がけていることは特になし。ちょっとした休憩時間にヤフーのニュースを見るので、そこに食品関係のものがあつたときには、どのような内容なのか読むようにしている。(男性 / 18 歳 / 大学生・大

学院生)

- z 致命的な情報でなければ、買わなくなる程度であり、それが本当か嘘かはどうでもよい。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z 実際に起きた情報を特に見るようにしている。(女性 / 14 歳 / 中学生)

質問 8 あなたは自分が食中毒にならないためにふだん、どんなことに気をつけていますか。

消費期限・賞味期限

- ㊦ 食品は、消費期限内に消費する。食器は常に清潔に保つ等。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- ㊦ 消費期限と賞味期限を守ることを意識しています。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- ㊦ 衛生管理を徹底、消費期限切れのやつは使わない。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- ㊦ 賞味期限を確認する。特に傷みやすいものは開封後すぐに食べる。乾燥したところ、冷蔵庫の中など適切な場所に管理保管する。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- ㊦ 賞味期限切れのものは食べない。しっかりと火を通して食べる。保管方法に気をつける。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)

手洗い・衛生面

- ㊦ 特に気をつけていることはない。強いてあげるとすれば、手洗いくらいである。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ 食べる前に手洗いしている。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- ㊦ 手洗いうがい、生ものをできるだけ食べない。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ 手洗いと温かい場所で食べ物を保管しない。(女性 / 22 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ 手洗いうがい、熱処理。(男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- ㊦ 古くなったものは無理して食べない、不衛生な手で料理を作らない。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

加熱・生ものを避ける

- ㊦ 加熱して食べることを意識している。なるべくすぐに食べきるようにする。冷蔵庫に入れて保管する。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- ㊦ 火をきちんと通す。(女性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ 加熱してあるものを食べる。夏場の厚い時には生ものを積極的に取らないようにする。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ とりあえず最近では生魚を食べることなくなりました。基本的に熱を通してから食べています。それと調理した料理は食べる分をよそった後に直ぐ保存用トレーに入れる。(女性 / 15 歳 / 中学生)
- ㊦ まずは、元も子もないですが、食中毒が気になる生ものは勢いで食べないようにしています。例えば、オーストラリア滞在中に、大好きな牡蠣で食中毒になったことがあるので、牡蠣を食べるタイミングは気を付けています(次の日が休日など...)。馬肉ユッケも大好きですがちゃんと調理していそうな大きなお店で食べます。また、自分では食中毒の危険がありそうな食材は調理しません。夏場の飲食物はすぐに消費することも心がけています。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- ㊦ 肉の生食など、食中毒の危険が少しでもある食品はなるべく避けるようにしている。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- ㊦ 生ものをあまり食べないことだと思います。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- ㊦ 生肉は食べない。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)

保冷

- z 保冷剤を入れてお弁当を持ち歩いたり、調理器具の消毒に気を使ったりしている。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 作ったお惣菜はすぐに冷蔵庫にしまう。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 買い物をした後は寄り道をせずに帰宅し、購入してきたものを冷蔵庫に入れたり、しっかりと火を通すことを心掛けています。(女性 / 27 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 料理をして残ったものはそのままにせず冷蔵庫にいれる。封を開けたものは早めに消費する。(女性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)

地産地消・産地

- z 地産地消が一番だと思います。近場のものが一番新鮮だし、国産の方が信頼がおけます。ただ、成形肉やミンチなどは国産と記載があっても鮮度や添加物が心配です。成形肉はきちんとその表示が欲しいし、国産牛も日本で生まれ育った牛の肉なのか表示が今一つわからず不安なので、神戸牛とかきちんと産地表示があるものを買います。あとは出来るだけ、作ったその時に食べることです。(女性 / 22 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 国産で、新鮮なもの。(男性 / 20 歳 / 大学生・大学院生)
- z 初めに食品の表示に気をつけて、次に食品の生産地(バーコード)を確かめることである程度の確認を行っている。また、食品偽装問題が発生した際には、自身が利用するスーパーや生協などでそのような食品が流通していないかどうかを確認することなどを行っている。同時に購入した食品に対して、焼いたり、蒸すなどの加工過程を加えることで、極力生もので口にすることを防いでいる。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

見た目、においなどで確認

- z 匂いを嗅いで食べる。温度に気をつける。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 食材のにおいや状態から、あやしい、心配だと感じたものは口にしない。食材の置かれている環境の衛生状態に注意して、食品を選ぶ。例えば、市場で虫がたかっているものは避ける。一方で、見た目はきれいなものも、大量の農薬によるものかもしれないので、選ばない。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z 腐りそうなものは食べないようにする。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 消費期限、生ものを使う時は匂いやその食材の状態をみてから使う。保存方法。トイレから帰った後の手洗い。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)

店選び

- z 海外では屋台の飯を食べない。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

- z 腐ったものは買わない、食べない。外食であたりそうなものは頼まない。清潔な店が見る。(女性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- z 大型チェーン店やサイトレビューの高いお店で食事をするようにしています。信頼の失墜による損益が大きい店は食品管理に厳しいという前提に立って食事をしています。(男性 / 21 歳 / 大学生・大学院生)

あまり気をつけていない

- z あまり気をつけていない。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- z 普段は学食などで安全なものを食べているので、あまり気をつけてないです。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z なし。海外や屋台では選んで食べる程度。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

質問 9 食中毒を減らすために、国はどのような情報発信に取り組むことが効果的だと思いますか。

学校・職場の指導

- z 学校で家庭科の授業で徹底して教える。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 食教育。特に常温保管の破棄推奨。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)
- z O157 の情報 (予防や症状の紹介など) などを中学校時代の道徳とか家庭科で毎年夏前に教えてはどうでしょうか。(男性 / 17 歳 / 高校生)
- z 義務教育の給食時に食育の一環として、手洗いを習慣化させる。食育の一環として食中毒について学ぶ。(男性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

メディア・インターネット・SNS・アプリでの情報発信

- z Facebook や Twitter、インスタグラム等で情報発信。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- z 食中毒への具体的な対策方法に関する特集をテレビや新聞で行ったり、公式ホームページに公開したりすると良いとおもう。(女性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)
- z 細菌による食中毒以外は、新聞、テレビ(マスコミ)等利用し情報を速やかに発信する。(男性 / 26 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 食の安全に関することを学べるスマホ用アプリを開発する。クイズなどをつくってより効果的に学べる。(男性 / 16 歳 / 高校生)
- z 食中毒について、どんな小さなことでも知ることのできる専用アプリがあるといいかなと思う。食関係の仕事をしている人なら特に気を配っていると思うけれど、そうでない人たちは、あまり考えていないように思う。そういった人には、失敗体験を聞くことで学ぶのも一つではないかと考える。(男性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)

広報・ポスター・冊子・マンガ

- z 夏は特に食中毒が多いと思うので、気を付けることをどんどん私たちの目につくようなところに掲示してほしいです。(女性 / 14 歳 / 中学生)
- z 食中毒の流行しやすい時期(梅雨時など)に合わせて、注意を呼びかける広報を行う。その際、国から学校や企業などの組織にアプローチし、生徒や雇用者、末端の市民ひとりひとりにまで情報が行き届くようにする。また公共機関における広告掲示など、市民が日常で情報に接する機会を増やす。自治体主体の講習会などの支援を行う。(女性 / 29 歳 / 専門学校・短大などの学生)
- z どうすれば食中毒を防げるのか、食品ごとに具体的な情報を発信すると良いと思います。また、その情報もスーパーにポスターのような形で掲示すると、より周知することができると思います。(女性 / 27 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z どうして食中毒になるのかを、分かりやすく発信する。マンガなど。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z 広告等を利用して、食中毒についての正しい知識を広める必要がある。また、食中毒対策の紹介をするのも必要だと考える。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- z 正しい調理方法や正しい保存の仕方、中毒性があり食べてはいけない植物などを、より消費者の目につく広報の仕方で発信する必要があると思う。(男性 / 17 歳 / 高校生)

イベント・セミナー

- z 30 代未満の方が大半を占めるということなので、一人暮らしの学生や新入社員向けのイベントや PR の実施や新婚夫婦や小さな子供を持つ世帯向けのイベントや PR を実施することが効果的かと思います。また、ママ友コミュニティでの PR イベントを企画し開催することで、広く周知することが出来ると思います。(男性 / 25 歳 / パート・アルバイト・派遣社員・契約社員)
- z 手洗いの推進をもっとアピールしてほしい。特に、外食に行ったりすると、すぐ近くに手を洗える場所がなかったりすると、「まあいいか、手を使わないし」といったような気持ちにもなってしまいうるから、そうではなく、食べる前・作る前は必ず手を洗ってから行う、といったことを常に頭に入っているように良いと思う。レストランや休憩所、ちょっとしたベンチなどご飯を食べるところだけではなく、手洗い場所などにもそういった注意書きを目にする機会があると、思い出しやすい。食中毒については、子供だけでなく大人にも広く広めるべきであると思う。食中毒に関してはなってしまうリスクは年齢とともに変わるわけではないと思うので、油断しがちな大人にもセミナーなどで少しずつ伝えていき、食中毒をなくすための努力を自ら行い気を付けていくべきだと思う。(女性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- z 情報発信だけではなく、どのようにして食中毒が起きるのかを体験できる機会を提供することが効果的だと思います。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- z いろいろな場所で、随時啓発イベントを開催する、ショッピングモールなどで気軽に参加できる企画にして(クイズショーや講座会など)、自分で料理する人や、食中毒の正しい知識を知らない人に向けて情報を伝える。野球場のビジョンに食中毒の情報を流しているのを見て、いろんな人の集まるところに情報を発信する方法は大事だと思ったから。飲食店を経営する人、調理する人達に向けて、食中毒予防の講座を開く。毎年食中毒のニュースがたくさん流れるから。(女性 / 13 歳 / 中学生)
- z 食中毒撲滅月間や週間を設定して、いろいろなイベントや広報を行って啓発活動を強化することです。

(女性 / 17 歳 / 高校生)

パッケージに記載

- ① 対策についてパッケージに記載するほか、店頭で知ることのできる仕組みがあるとその日の調理であれば印象に残っているので実践し易い。(男性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- ② 高温注意報などに絡めて食中毒注意報などをもっと積極的に発信していく。また、原材料などの明文義務化等に始まり、食品規制法、表示法に則ってしっかりと各食品を精査していくことが効果的だと考える。(男性 / 17 歳 / 高校生)

食品の処理、調理・調理後の取扱い

- ① 食品の衛生的な取り扱い方。(男性 / 23 歳 / 大学生・大学院生)
- ② 衛生的な環境での調理を啓発することが効果的だと思います。ただ、他国と比べると、日本の屋台や外食店舗で食中毒にあったことはなく、また自分自身もどうすれば食中毒が防げるかを理解しているので、日本の食中毒に関する啓発活動は十分であると感じます。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)
- ③ 「 で加熱殺菌したら大丈夫です」等の情報は実際に調理になれていないと分かりにくいので、食中毒が起こったケースを具体的に紹介してもらえると気をつけやすい。また、この調査の前提である「平成 29 年の食中毒患者数は 1 万 6 千人を超え、その半数以上を 30 代未満の子供・若者が占めています」という実態も、多くは給食等の集団調理や修学旅行先での食中毒等と想像するが、その点からは若者自身がいくら気をつけても、提供する側の対策がないとどうしようもない。よってまずはそのような事業者への周知徹底。(男性 / 27 歳 / 正社員・正職員)
- ④ 食中毒が多いと思うので、正しい食品の取り扱いを普及すべき。(女性 / 26 歳 / 大学生・大学院生)
- ⑤ 一晩置いてという料理の時は必ず冷蔵庫に入れる。放置させない。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ⑥ 生ものの提供を控える。(女性 / 24 歳 / 正社員・正職員)

予防法・危険性・注意喚起

- ① 食中毒の深刻さを知らせる。(女性 / 16 歳 / 高校生)
- ② ニュースで食中毒警報を良く耳にするが、慣れてしまって、特に何とも思っていない。危険性を伝えるべきである。そうすると、対策などのホームページも見られるようになる。(男性 / 29 歳 / 正社員・正職員)
- ③ 季節物があるので、その食べ物が 1 番よく食べられる季節に注意喚起を集中的にやると効果的だと思う。(女性 / 23 歳 / 正社員・正職員)
- ④ 食材ごとに状態で食べたらダメなときを示す。例えば粘り気がある状態なら食べたらダメなど。(女性 / 19 歳 / 大学生・大学院生)
- ⑤ 食中毒の危険性喚起、食中毒を防止する方法。(女性 / 28 歳 / 正社員・正職員)

その他

- ① 世界中の人が納得する資料と、実験結果を基にした情報を提供することが効果的(男性 / 14 歳 / 中学生)

- z 輸入業者やメーカーに製造からの情報を全てオープンにさせる。(男性 / 18 歳 / 高校生)
- z 衛生基準を引き上げ、遵守させる。(男性 / 18 歳 / 大学生・大学院生)